

[改訂事項]

4. 投稿の言語：和文論文は日本語による審査で仮採用された後、翻訳費用を学会と著者が折半で負担のうえ英訳し、編集委員会による最終確認後に本採用となる（2019年以降に負担の割合を見直し予定）。
20. 論文種別による執筆要綱：和文での投稿にあたり、英文要旨を記述する。

■ 編集方針

1. 本誌の目的

本誌は脳神経血管内治療、およびそれに関連した神経科学の分野における最新の情報や技術を提供・共有することを目的とする。

2. 投稿資格

会員・非会員を問わず、投稿を受け付ける。

3. 論文種別

脳神経血管内治療の発展に貢献しうるオリジナリティに富んだ論文を歓迎する。原著、総説、症例報告、テクニカルノート、Anatomical Imaging を募集する。

4. 投稿の言語

投稿は、原則的に英文を受け付けるが、英訳を前提とした和文での投稿も受け付ける。和文論文は日本語による審査で仮採用された後、翻訳費用を学会と著者が折半で負担のうえ英訳し、編集委員会による最終確認後に本採用となる（2019年以降に負担の割合を見直し予定）。翻訳はJNET編集室を通して学会指定の翻訳業者によって行う。英訳後の他誌への投稿は不可とする。他誌に投稿した場合は、翻訳費用は著者の全額負担とする。

5. 論文審査

審査はダブルブラインドで行う。投稿論文の採否は編集委員会で決定する。場合により原稿の一部改正または訂正を求めることもある。

6. 著作権

著者全員が以下の諸項を確認したうえで、投稿論文の著作権（著作権法第27条、同第28条に定める権利を含む）は日本脳神経血管内治療学会へ譲渡される。論文は、クリエイティブコモンズCC-BY-NC-ND（表示—営利利用不可—改変禁止）の国際ライセンスの条件下で掲載される。

<https://creativecommons.org/licenses/by-nc-nd/4.0/deed.ja>

著者の同意確認は、オンライン投稿・査読システムの投稿画面で行うこと。また論文投稿完了時にシステムから著者全員に投稿確認メールが送信されるので、各々必ず確認すること。

- 1) 投稿論文は過去に他の出版物に公開されたことがなく、公開の予定もないことが必須条件である。
- 2) 投稿論文が他の著作物を侵害していないこと。論文・記事中において転載許諾が必要な部分について

は、その許諾を得ていること。

3) 投稿論文の内容について本質的な貢献を行った人はすべて著者に含まれていること。

4) 該当論文の内容の公開について、必要な場合は所属機関のしかるべき権限を有する人の同意を得ていること。

7. 倫理方針

人を対象とする研究は、ヘルシンキ宣言に基づき実施され、施設の倫理委員会の承認を得ていること。動物を対象としている研究は、ARRIVEガイドラインにのっとっていること。

8. 利益相反

1) 開示基準

投稿論文の内容に関して、「NPO 法人日本脳神経血管内治療学会医学研究のCOIに関する指針」「同規則」に基づいて、共著者を含めた全著者が利益相反を開示すること。対象期間は、投稿日からさかのぼって過去3年間とする。開示すべき内容などの詳細は、学会HPの「利益相反規定」を確認すること。（開示基準）

A. 著者自身の申告事項

役員・顧問職 100万円以上
株式 利益 100万円以上又は全株式の5%以上保有
特許使用料 100万円以上
講演料など 100万円以上
原稿料など 50万円以上
研究費 200万円以上
受託研究費 年間1,000万円以上
寄付講座 年間200万円以上（1企業）

B. 著者の配偶者、一親等以内の親族、または収入財産を共有する者

役員・顧問職 100万円以上
株式 利益 100万円以上又は全株式の5%以上保有
特許使用料 100万円以上

2) 開示の方法

利益相反の開示は、①論文への記載、②利益相反開示書の提出、の両方を行う。

①論文への記載：下記の記載例にしたがって、論

文の文献リストの前にサブタイトル「利益相反の開示」をつけて記載する。1名以上の著者に利益相反がある場合は、論文本文への記載では著者名は「著者Aは…」というように匿名とし、実際の著者名はオンライン投稿システムの所定の欄に入力すること。（詳しくは投稿作業時に投稿システム内の説明を確認すること。）

（記載例）著者Aは、X株式会社から研究資金の援助を受けている。著者Bは、X株式会社の社員である。著者Cは、X株式会社から講演料等の謝金を受けている。筆頭著者および共著者全員が利益相反はない。

② 利益相反開示書の提出 開示書は、ジャーナルHPの投稿規定掲載画面と同じ画面からダウンロードできる。筆頭著者または連絡著者が全員の利益相反をまとめて1枚の開示書に記入し、論文投稿時に論文ファイルと一緒に提出する。

9. 著者資格

「著者」は、ICMJE (International Committee of Medical Journal Editors) が推奨する下記の4つの

条件をすべて満たす者に限る。また、下記の4つの条件をすべて満たす者は「著者」としなくてはならない。

- 1) 研究の構想と企画，データの取得，分析，解釈に実質的な貢献をした。
- 2) 原稿の起草や，高度な知識に関する内容について批評的な推敲を行った。
- 3) 出版原稿の最終承認を行った。
- 4) 研究のあらゆる部分の正確性あるいは公正性に対する疑問が適切に調査・解決されるように，研究のすべての側面について説明責任があることに同意している。

上記4条件を満たさないが，研究に何らかの貢献をした者は「謝辞」に記載する。

10. CrossCheck

JNETはCrossCheck(コピー&ペースト検知ソフト)を導入している。投稿された論文はすべてCrossCheckによりチェックされる。剽窃の可能性が検知された場合は，編集委員会から書き直しを要請したり，審査を中止する場合がある。

■ 投稿の様式

11. 投稿の方法

投稿はすべてオンライン投稿査読システムで受け付ける。投稿システムは画面右上で言語を日本語と英語で切り替えることができる。

<https://mc.manuscriptcentral.com/jsnet-en>

再投稿は，査読者への回答として前回の各査読コメントに対して一つ一つ回答し，本文の修正箇所を明示する。本文の修正箇所はアンダーライン，カラーフォントなどでハイライトすること。

12. 原稿ファイルと利益相反開示書

投稿時には論文ファイルを下記のフォーマットでアップロードする。

- 1) タイトルページ：Word (タイトルページと本文ファイルは別ファイルにすること)
- 2) 本文 (要旨～図表の説明)：Word
- 3) Table：Word, Excel (画像データやテキストボックスの貼付は不可)
- 4) Figure：JPEG, TIFF
- 5) Movie：MPEG, AVI
- 6) 利益相反開示書：Word, PDF

13. 書式

英語で投稿の場合：WordのA4判で，フォントサイズは11ポイント，余白は前後左右を各々25mm，フォントスタイルはArialまたはTimes New Romanなどの標準的なものを使用する。本文はダブルスペースでタイプし，ページ番号をふる。日本語で投稿の場合：WordのA4判で，フォントサイズは10～11ポイント，1行の文字数30字，1枚の行数24行，余白は前後左右を各々30mm

とする。

14. 英文校正

予め医学論文の校正を専門とする native speaker による校正を必ず受けること。

15. 数字・単位

数字は算用数字を用い，度量衡単位はCGS単位で m, cm², mL, dL, g とする。

16. 略語

題名, key words, 要旨, 本文の各パートにおいて，初出の英単語は略さずスペルアウトし，2回目以降は略語とする。図・表の説明には，それぞれの図表について略語の定義を記載する。以下の略語は慣用語としてスペルアウトせず略語を用いることを認める。

CT, CTA, DSA, FLAIR, Gd, MRA, MRI, T1, T2, T2*, 3D

17. デバイス表記

カテーテル，コイルなどのデバイスは，論文中の初出時に発売元を記載する。デバイスの初出時に発売元を記載するため，デバイス名に“TM”や“®”を記載する必要はない。別掲の表記例を参考にすること。（例）EDコイル-10（カネカメディクス，大阪）→企業名，所在都道府県名

GDC Ultrasoft (Stryker, Kalamazoo, MI, USA) →企業名，都市名，州名，国名

■ 論文の構成

18. タイトルページ

下記の項目すべての記載を必須とする。はじめに和文で投稿する場合は、和文論文の仮採用後、英訳して再投稿する際に、下記の内容を英語にして英訳論文と一緒に提出すること。

- 1) 論文種別
- 2) 論文タイトル
- 3) 全員の著者名
- 4) 著者全員の所属施設・部署（論文が執筆された所属）
- 5) 連絡著者の氏名・連絡先（所属施設／部署名、住所、電話番号、メールアドレス）
- 6) キーワード 5個以内
- 7) 宣言「本論文を、日本脳神経血管内治療学会 機関誌 JNET Journal of Neuroendovascular Therapy に投稿するにあたり、筆頭著者、共著者によって、

国内外の他雑誌に掲載ないし投稿されていないことを誓約致します。」と記載する。本記載のないものは投稿を受け付けない。

19. 論文の基本構成

要旨→本文→（謝辞）→利益相反開示→文献→図・表の説明、の順に構成すること。本文や図表には著者名や所属機関名が判るような記載は避けること。

20. 論文種別による執筆要綱

論文の区分と長さは以下の通りとし、本文、文献および図、表を含んだ長さとする。図表は1点あたり、1/4頁換算（英文で400語、和文で500字）とし、本文、文献の長さを減じること。※規定の長さを超過している論文は原則として投稿受付しない。また論文の長さの文字数、刷上り頁は目安であり、実際の刷上り頁数が目安を超過した場合は超過ページ料金を著者が負担すること。

■ 英文での投稿

総説	編集委員会から執筆を依頼することもあります
語数	9,600語以内（刷上り8ページ）
要旨	400語以内。形式は問わない。
本文構成	形式は問わない。ただし、本文の後に（Acknowledgment）、Disclosure Statement、References、Figure Legendsが続く。
文献	50個以内
図表	10個以内
原著	独創性に富み目的、結論等の明確な研究論文
語数	7,200語以内（刷上り6ページ）
要旨	400語以内。構造化（Objective, Methods, Results, Conclusionの見出しをつける。）
本文構成	Abstract, Introduction, Materials and Methods, Results, Discussion, Conclusion, (Acknowledgment), Disclosure Statement, References, Figure Legends
文献	30個以内
図表	8個以内
症例報告	脳神経血管内治療に関連した興味深い1~2症例の短報。技術的側面の強いものはテクニカルノートに投稿すること。
語数	6,000語（刷上り5ページ）
要旨	250語以内。構造化（Objective, Case Presentations, Conclusionの見出しをつける。）
本文構成	Abstract, Introduction, Case Report, Discussion, Conclusion, (Acknowledgment), Disclosure Statement, References, Figure Legends
文献	20個以内
図表	6個以内
テクニカルノート	新しい装置や治療器具、治療技術の開発など、主としてテクニカルな点を強調したもので、十分な臨床成績を積む前に報告する価値のある論文
語数	6,000語（刷上り5ページ）
要旨	250語以内。構造化（Objective, Case Presentations, Conclusionの見出しをつける。）
本文構成	Abstract, Introduction, Case Report, Discussion, Conclusion, (Acknowledgment), Disclosure Statement, References, Figure Legends
文献	20個以内
図表	6個以内

Anatomical Imaging	脳血管内治療に関連する重要な血管解剖に関するきれいな画像とその解説で構成された、教育的意義のあるもの。新規性や統計データは求めない。
語数	2,400 語 (刷上り 2 ページ)
要旨	不要
本文構成	形式は問わない。ただし、本文の後に (Acknowledgment), Disclosure Statement, Figure Legends が続く。
文献	5 個以内
図表	8 個以内 (組画像の場合は、各パネルを 1 個と数える)

■ 和文での投稿

総説	編集委員会から執筆を依頼することもある
語数	16,000 字以内 (刷上り 8 ページ)
和文要旨	500 字以内。形式は問わない。
英文要旨	400 語以内。形式は問わない。
本文構成	形式は問わない。ただし本文の後は、(謝辞)「利益相反開示」「文献」「図表の説明」
文献	50 個以内
図表	10 個以内
原著	独創性に富み目的、結論等の明確な研究論文
語数	12,000 字以内 (刷上り 6 ページ)
和文要旨	500 字以内。「目的」「方法」「結果」「結論」の見出しをつける。
英文要旨	400 語以内。構造化 (Objective, Methods, Results, Conclusion の見出しをつける。)
本文構成	「和文要旨」「英文要旨」「緒言」「対象と方法」「結果」「考察」「結語」(謝辞)「利益相反開示」「文献」「図表の説明」
文献	30 個以内
図表	8 個以内
症例報告	脳神経血管内治療に関連した興味深い 1~2 症例の短報。技術的側面の強いものはテクニカルノートに投稿すること。
語数	10,000 字 (刷上り 5 ページ)
和文要旨	300 字以内。「目的」「症例」「結論」の見出しをつける。
英文要旨	250 語以内。構造化 (Objective, Case Presentations, Conclusion の見出しをつける。)
本文構成	「和文要旨」「英文要旨」「緒言」「症例呈示」「考察」「結語」(謝辞)「利益相反開示」「文献」「図表の説明」
文献	20 個以内
図表	6 個以内
テクニカルノート	新しい装置や治療器具、治療技術の開発など、主としてテクニカルな点を強調したもので、十分な臨床成績を積む前に報告する価値のある論文
語数	10,000 字 (刷上り 5 ページ)
和文要旨	300 字以内。「目的」「症例」「結論」の見出しをつける。
英文要旨	250 語以内。構造化 (Objective, Case Presentations, Conclusion の見出しをつける。)
本文構成	「和文要旨」「英文要旨」「緒言」「症例呈示」「考察」「結語」(謝辞)「利益相反の開示」「文献」「図表の説明」
文献	20 個以内
図表	6 個以内

Anatomical Imaging	脳血管内治療に関連する重要な血管解剖に関するきれいな画像とその解説で構成された、教育的意義のあるもの。新規性や統計データは求めない。
語数	2,000 字以内（刷上り 2 ページ）
和文要旨	不要
本文構成	形式は問わない。ただし本文の後は、(謝辞)「利益相反開示」「文献」「図表の説明」が続く。
文献	10 個以内
図表	8 個以内（組画像の場合は、各パネルを 1 個と数える）

21. 謝辞

謝辞がある場合は本文には記載せず、オンライン投稿・査読システム内の所定の欄に入力すること。

22. 利益相反開示

下記の記載例にしたがって、論文の文献リストの前にサブタイトル「利益相反の開示」をつけて記載すること。1 名以上の著者に利益相反がある場合は、論文本文への記載では著者名は匿名とし、著者名はオンライン投稿システムの所定の欄に入力すること。（詳細は投稿作業時に投稿システム内の説明を確認すること。）

（記載例）

著者 A は X 株式会社から研究資金の援助を受けている。

著者 B は X 株式会社の社員である。

著者 C は X 株式会社から講演料等の謝金を受けている。

筆頭著者および共著者全員が利益相反はない。

23. 文献

登場順に番号をつけて列記する。文献の数は、本規定の「19. 論文種別による執筆要綱」を確認すること。本文中の引用文献は片括弧で superscript（上付き）の形式として、著者は 3 名までは全員を、3 名以上の場合は 3 名までを記載し、「他」や“et al.”をつける。単行本の場合は編者の名を記入する。誌名は Index Medicus による略語を使用すること。和文で投稿する場合、文献が日本語の場合はあらかじめ英語表記を調べて英語で記載すること。

〈雑誌の場合〉 著者名：論文題名。雑誌略名 発行年（西暦）；巻： ページ初 - 終。

〈著書の場合〉 著者名：書名。発行地、発行所、発行年（西暦）。 著者名：題名。編者名：書名。版数、発行地、発行所、発行年（西暦）、引用ページ初 - 終。

（例）

1) Miyata H, Nakahara I, Ishii A, et al. Predictors

and stroke risk of restenosis after carotid artery stenting. JNET J Neuroendovasc Ther 2015; 9: 245-253.

2) Osborn AG: Diagnostic Neuroradiology. Mosby. St. Louis, 1994, 15-36.

3) The Japan Stroke Society, The Japan Neurosurgical Society, The Japanese Society for Neuroendovascular Therapy. Guidelines for the Proper Use of Percutaneous Transluminal Cerebral Thrombus Retrieval Devices, Edition 2. http://jsnet.website/sozai/info-shonin/150402n_oukessenn_shishin.pdf (Accessed: December 10, 2016)

24. 図表の説明

図表の説明は文献リストの後にまとめて記載する。図表の説明に略語を使用した場合は、個々の図表の説明にその内容をスペルアウトして明示する。

25. 図表

1) 図表番号：表は Table 1, Table 2, …, 図は Figure 1, Figure 2…と番号をふる。本文中では、すべての図表を図表番号順に引用すること。

2) 表： Word または Excel で作成し、1 個につき 1 つのファイルで保存する。表番号を Table 1 のようにつけて、タイトルを表の上に記載する。略語を使用した場合には個々の表の下部にその内容をスペルアウトして明示すること。また画像データやテキストボックスを並べた表は不可とする。

3) 図： JPEG, TIFF 形式で作成し、1 個につきひとつのファイルで保存する。解像度は CT, MRI, 脳血管撮影などの場合は 300dpi 以上、描画された図の場合には 1200dpi 以上とし、サイズはキャピネ版以上 (127mm×178mm) で作成する。解像度を維持してサイズの調整が難しい場合は、審査用として Word または PowerPoint に十分な大きさに貼りつけたものを提出すること。CT, MRI は、頭部の右側が画像に向かって左に、また脳血管撮影の側面像

は、画像に向かって左が鼻側になるように配置する。
3D 画像はその限りではないが、方向がわかるよう

にすること。

■ 制作と掲載

26. 著者校正

著者校正は1回とする。著者校正時に下記の「26. 掲載料」に関する料金について確認を行う。

27. 掲載料

1) 超過ページ料金：組版の結果、規定の刷り上がりページ数を超過した場合は、超過1ページあたり20,000円を著者の負担とする。

2) カラー印刷料金：カラー図表はオンラインでは無料掲載とする。印刷もカラーを希望する場合は実費を著者の負担とする。カラー1頁めは55,000円、2頁めから1頁につき50,000円とする。

3) 別刷：別刷を希望する場合は著者校正時に50部単位で注文を受け付ける。

問合せ先：JNET 編集室

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-8-21 虎ノ門33森ビル7F

(株)メディカルトリビューン 学術編集部

TEL 03-6841-4542, FAX 03-6841-4559

Email: jnet@medical-tribune.co.jp

JNET Journal of Neuroendovascular Therapy 利益相反自己申告書

■ 日本脳神経血管内治療学会発行「JNET Journal of Neuroendovascular Therapy」に論文を投稿する場合は、共著者全員が当該論文にかかわる企業との金銭的関係を開示しなければならない。開示にあたっては、日本脳神経血管内治療学会の指針・細則を参照のこと。（<http://www.jsnet.umin.jp/>）

■ 開示の方法は、① 利益相開示書の提出、② 論文本文への記載、の2点によって行う。

① すべての共著者は、各々、共著者本人・配偶者・近親の利益相反状況を開示する。筆頭著者または連絡著者は、全共著者の利益相反をこの申告書1枚にまとめる。論文投稿の際に、申告書をオンライン投稿・査読システムにアップロードして提出する。

論文タイトル	
申告者氏名 (筆頭または連絡著者)	
所属・職名	

申告事項

・下記の表で利益相反のある著者は、右欄に著者名および当該の企業名を記載する。
 ・「役員・顧問職」「株式」「特許使用料」については、申告者の配偶者、一親等以内の親族、または収入財産を共有する者についても記載すること。

	金額	該当状況	該当著者名および企業名
役員・顧問職	100万円以上	有・無	
株式	利益 100万円以上又は全株式の5%以上保有	有・無	
特許使用料	100万円以上	有・無	
講演料など	100万円以上	有・無	
原稿料など	50万円以上	有・無	
研究費	200万円以上	有・無	
受託研究費	1,000万円以上	有・無	
寄付講座	200万円以上	有・無	

② 論文本文への記載例

・文献リストの前に記載すること。
 ・利益相反がある場合は、著者名は論文中には記載せず、オンライン投稿・査読システムの指定の場所に入力すること。文献リストの前には、「著者Aは…」のように匿名として記載すること。

著者Aは、X株式会社から研究資金の援助を受けている。

著者Bは、X株式会社の社員である。

著者Cは、X株式会社から講演料等の謝金を受けている。

筆頭著者および共著者全員が利益相反はない。